

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-006)

1 駐ソロモン諸島台湾大使が、台湾とソロモン諸島間の関係強化を目指すため、新たに選ばれたソロモン諸島首相と会談

[原文](#)

(6 May 2019, Taipei Times)

2 ツバル首相は台湾総統と会談し、二国間の海上での研修協定（この協定により、台湾で実施した研修や資格がツバルで同等と認定される）に合意

[原文](#)

(6 May 2019, Radio NZ)

3 ニュージーランド空軍が、行方不明のキリバス漁船 2 隻の搜索を継続

[原文](#)

(7 May 2019, Radio NZ)

4 パラオ大統領は、地元食品の安全保障、沿岸漁業（サンゴ礁海域）資源減少への圧力軽減、国民の食生活改善を目的として、同国 EEZ でとれる持続可能なマグロの消費を推奨（日本財団とブリティッシュ・コロンビア大学が共同で行っているネレウスプログラム報告書において、サンゴ礁への負荷が高まっており、地元民、観光客はサンゴ礁海域以外の魚を食べることを示唆）

[原文](#)

(7 May 2019, TunaPacific)

5 太平洋諸島フォーラム経済担当大臣会合において、新たな島嶼国独自の気候変動対策のための基金設置に合意

[原文](#)

(7 May 2019, Pacific Note)

[原文](#)

(9 May 2019, Pacific Note)

6 太平洋諸島フォーラムは、中国との経済的結びつきが強くなる中で、中国と台湾が競合関係を乗り越えて調和する方向に期待（太平洋諸島フォーラム事務局長は、政治的関係ではなく経済的な関係から、今後の会議等で APEC と同様に中国と台湾を同席させることを提言）

[原文](#)

(8 May 2019, Pacific Note)

7 東京にある太平洋諸島センター (PIC) は、太平洋諸島フォーラム事務局の世界的な貿易事務所ネットワークとなっている

[原文](#)

(8 May 2019, Pacific Periscope)

8 「台湾はこれまで 35 年の国交関係があり、ソロモン諸島にとって友好国で、重要なパートナーである」と台湾海軍によるソロモン諸島ホニアラ港への入港式典において、ソロモン諸島外務貿易大臣が発言

[原文](#)

(8 May 2019, PINA)

9 世界銀行が、自然災害や気候変動対策として、海上インフラ (港湾関連) 施設の建設や改修等を実施するため、ミクロネシア (3,850 万 US ドル) 及びマーシャル諸島 (3,310 万 US ドル) の 2 つのプロジェクトを支援

[原文](#)

(9 May 2019, World Bank)

10 ナウルの前大統領 Sprent Dabwido 氏が逝去 (元大統領は、野党 (Nauru19) 党首であり、現政権批判をしたことにより、2015 年に裁判にかけられた)

[原文](#)

(9 May 2019, Radio NZ)

11 ミクロネシアのヤップ島において、中国人投資家によるホテル建設計画提案が、そのリース期間が法的な限度を超えているとして、ヤップ知事が提案を無効とし、計画は凍結 (ヤップ島住民からの中国による投資への反対意見も増加)

[原文](#)

(9 May 2019, Radio NZ)

12 ミクロネシア大統領にポンペイ州選出の David W. Panuelo 氏が初当選

[原文](#)

(13 May 2019, Marianas Variety)